レントゲン室据附圖集

河本美夫編

60
1331

レントゲン据附圖集

60
1331

本据附圖集は當社レントゲン工作課設計係に於て作成せる据附圖面より選びたるものにて何れも實際の例なるが故に必ずしも完全なるもの丶みを蒐めたるものゝ如き云ひ難けれど新たにレントゲン室を作り又は改築せらる丶場合等の參考ともなれば幸甚なり。

株式會社 **島津製作所** レントゲン部

本　　店　京都市區河原町二條南
東京支店　東京市神田區錦町一丁目
大阪支店　大阪市北區中之島二丁目
九州支店　福岡市西中洲
大連出張所　大連市若狹町
京城出張所　京城府南大門通二丁目
台北出張所　台北市本町三丁目

60-1331

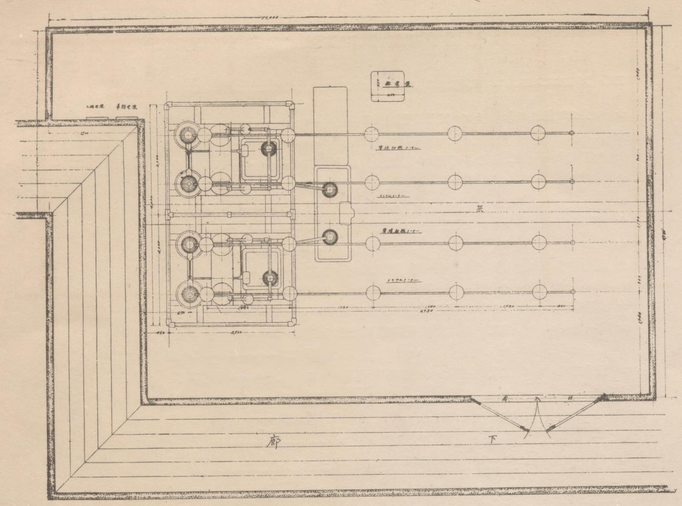
目次

★ 中島式双連超高壓レントゲン裝置 据附圖（平面圖）——— 1 頁
★ 仝 （側面圖）——— 2 頁
★ 博愛B號レントゲン裝置 据附圖（平面圖及側面圖）（其の一）——— 3 頁
★ 仝 （其の二）——— 4 頁
★ 仝 （其の三）——— 5 頁
★ 博愛A號及桂號レントゲン裝置 据附圖（平面圖）——— 6 頁
★ 仝 （側面圖）——— 7 頁
★ 博愛A號レントゲン裝置 据附圖（平面圖及側面圖）（其の一）——— 8 頁
★ 仝 （其の二）——— 9 頁
★ 博愛C號レントゲン裝置 据附圖（平面圖及側面圖）——— 10 頁
★ 平安號レントゲン裝置 据附圖（平面圖及側面圖）（其の一）——— 11 頁
★ 仝 （其の二）——— 12 頁
★ 愛宕號レントゲン裝置 据附圖（平面圖及側面圖）（其の一）——— 13 頁
★ 仝 （其の二）——— 14 頁
★ 仝 （其の三）——— 15 頁
★ ポレスダー號レントゲン裝置 据附圖（平面圖及側面圖）——— 16 頁
★ スペシアルポレツクス號レントゲン裝置 据附圖（平面圖及側面圖）（其の一）——— 17 頁
★ 仝 （其の二）——— 18 頁
★ スペシアルポレツクス號及ダイアナ號レントゲン裝置 据附圖（平面圖及側面圖）（其の三）——— 19 頁
★ ダイアナ號レントゲン裝置 据附圖（平面圖及側面圖）（其の一）——— 20 頁
★ 仝 （其の二）——— 21 頁
★ ペンチールダイアナ號レントゲン裝置 据附圖（平面圖）（其の一）——— 22 頁
★ 仝 （側面圖）——— 23 頁
★ 仝 （平面圖及側面圖）（其の二）——— 24 頁
★ ヂユノーA號レントゲン裝置 据附圖（平面圖及側面圖）——— 25 頁
★ ヂユノーB號レントゲン裝置 据附圖（平面圖及側面圖）——— 26 頁
★ 桂號レントゲン裝置 据附圖（平面圖及側面圖）（其の一）——— 27 頁
★ 仝 （其の二）——— 28 頁
★ 特型桂號レントゲン裝置 据附圖（平面圖及側面圖）——— 29 頁
★ 八坂號レントゲン裝置 据附圖（平面圖及側面圖）——— 30 頁
★ 特型八坂號レントゲン裝置据附圖（平面圖及側面圖）——— 31 頁
★ 八坂號レントゲン裝置 据附圖（平面圖及側面圖）——— 32 頁
★ スタルク號レントゲン裝置据附圖（平面圖及側面圖）——— 33 頁
★ ヂユノーC號レントゲン裝置 据附圖（平面圖及側面圖）——— 34 頁
★ 保津號レントゲン裝置 据附圖（平面圖及側面圖）——— 35 頁
★ 簡單なるレントゲン寫眞現像室（平面圖及側面圖）——— 36 頁

以上

昭和一〇・一・五

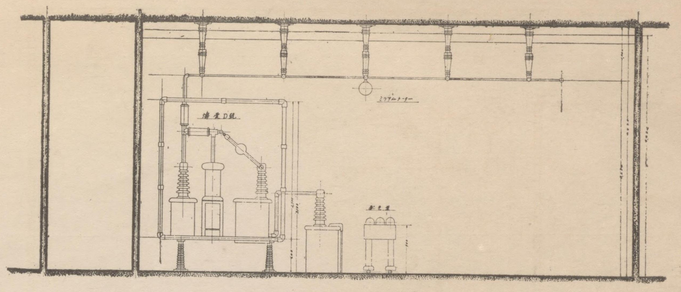
60
1331



1 中島式双連超高壓レントゲン裝置

平面圖　縮尺約 1/80

グライナッヘル氏の接續による定電壓レントゲン裝置二台を聯結せる特別なる裝置なり。最高電壓230KVのもの二台としても用ひられ、最高電壓450KVのもの一台としても用ひらる。此の超高壓に應する爲絶縁には特に留意したり。天井の高さ室の廣さはコロナの發生に多大の影響を及ぼすものなるが故に据附上充分なる注意を要す。

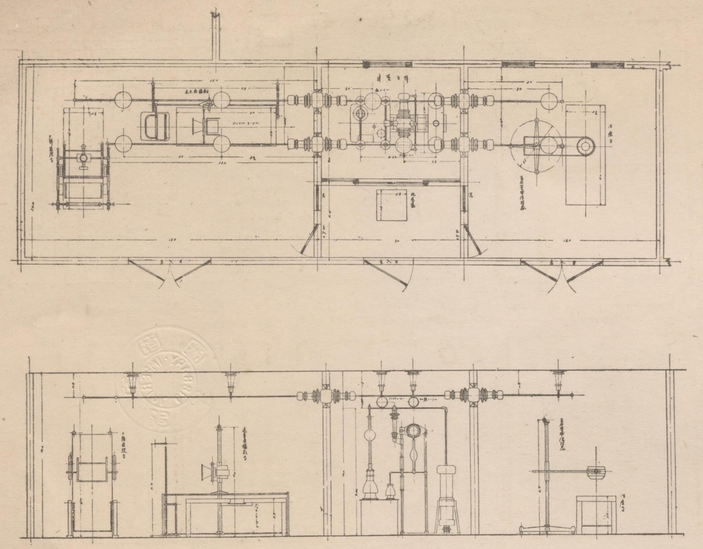


2 中島式双連超高壓レントゲン裝置

側面圖　縮尺約 1/80

前圖の側面圖なり。裝置の各部、架空管、吊下ミリアムメーター等すべてコロナの發生を防止する樣設計せられたり。

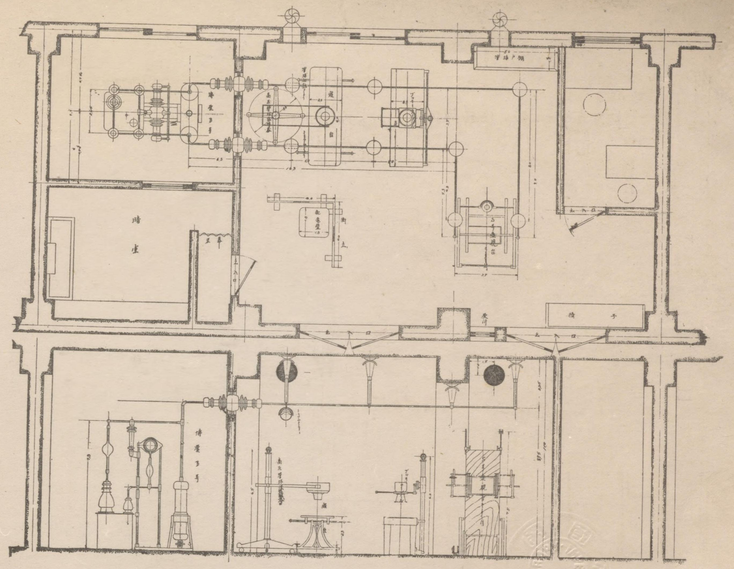
60
1331



3 博愛B號レントゲン裝置

平面圖及側面圖　縮尺約 1/80

深部治療、診斷兼用の博愛B號レントゲン裝置を設備し、中央部に機械室及び操作室を、左右に治療室診斷室を設けたり。機械室ミ左右の室を隔つる壁を貫通するブッシング内には加熱變壓器を收容せり。　治療室には深部治療用高壓管球保持器ミ治療台を、診斷室にはS號透視裝置、遠距離撮影裝置及びブッキーテーブルを据付く。　操作室には配電盤を置き機械室を監視しつゝ之れを操作し得るに便じて隔扉には窓を設けたり。

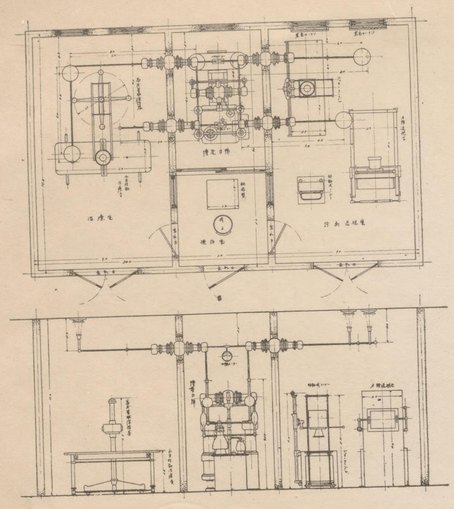


4 博愛B號レントゲン裝置

平面圖及側面圖　縮尺約 1/80

博愛B號レントゲン裝置を深部治療，診斷の兩目的に用ふべく、深部治療用高壓管球保持器、水平移動式治療台，ブッキーテーブル、S號透視裝置を診療室に据附けたり。發生裝置は別に機械室を設けて此處に收容し、又機械室に隣接してレントゲン寫眞現像室を設く。外に準備室もあり此の種のレントゲン室ミしては標準的ミ言ふべし。　尙ほ壁には排氣電氣扇二個を備へて室内の換氣を計り患者のレントゲン宿酔を防ぐ樣留意せり。配電盤の兩側に衝立を置けるは操作者がレントゲン線を蒙るを防ぐため必要なる處置なり。

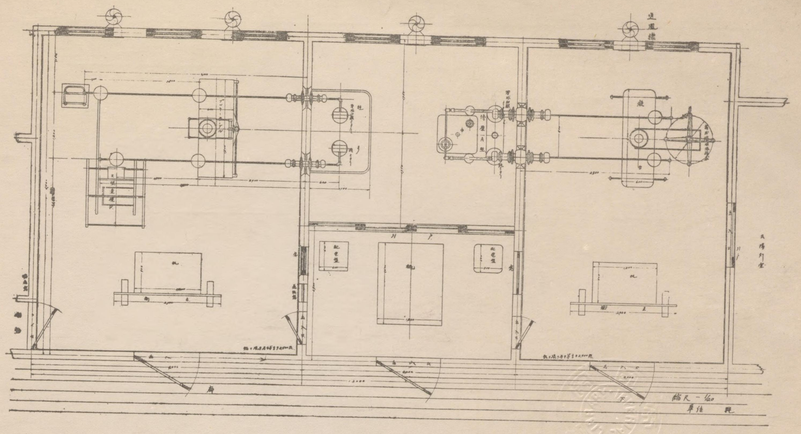
60
1331



5 博愛B號レントゲン装置

平面圖及側面圖　縮尺約 1/80

第三圖に於けるこ同樣中央に機械室、操作室を設け、その左右に深部治療室、診斷室を置きたるものなり。　深部治療室には深部治療用高壓管球保持器及び水平移動式治療台を、診斷室にはA號透視裝置、ブッキーテーブル、移動式リーダー氏撮影固定器を据附けたり。

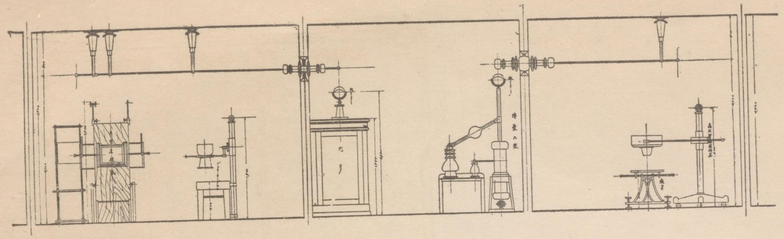


6 博愛A號及桂號レントゲン裝置

平面圖　縮尺約 1/80

本例に於ては深部治療專用の博愛A號レントゲン裝置、診斷用こしては桂號レントゲン裝置の二台を据附けたるものなり。中央に機械室及び操作室、左右に診斷室、深部治療室あり。　治療室には深部治療用高壓管球保持器及び水平移動式治療台を、診斷室にはブッキーテーブル、B號透視裝置、及び移動式リーダー氏立位撮影固定器を据附けたり。　壁に排氣電氣扇を備へたるは第三圖こ同樣なり。診斷室こ操作室この隔壁には通話格子窓を設けたれば透視のため診斷室を暗室こしたる場合にも操作室この通話は此の窓によりて自由に行はるべし。

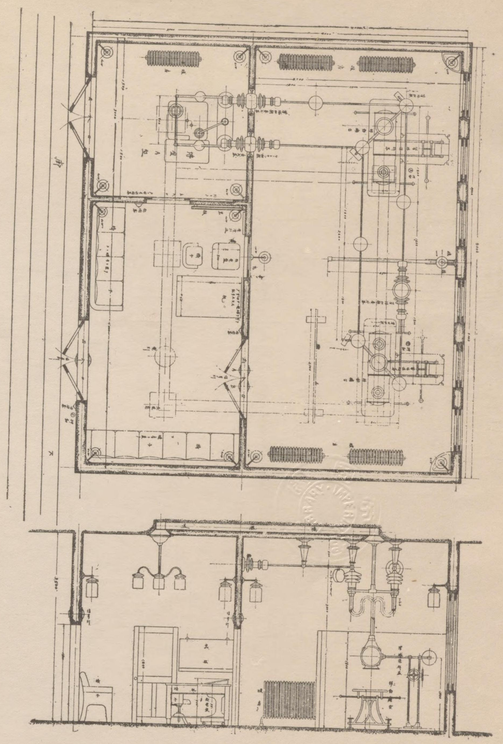
60
1331



7 博愛A號及桂號レントゲン裝置

側面圖　縮尺約 1/8

前圖の側面圖なり。

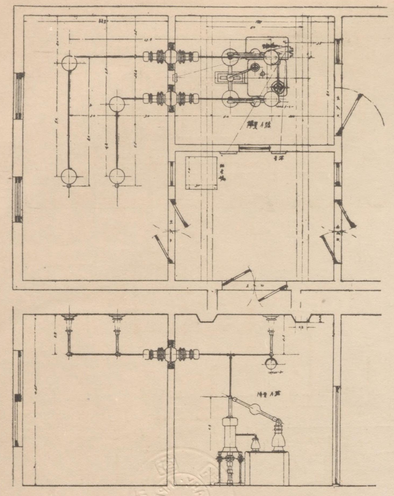


8 博愛A號レントゲン裝置

平面圖及側面圖　縮尺約 1/80

博愛A號レントゲン裝置一台を以て同時に二人の患者を治療し得べき樣になしたる例なり。　高壓架空管よりは無電擊式ケーブルにより管球に通電す。管球も亦無電擊用シールドに收めたり。　水平移動式治療台ニ此の無電擊式管球二組を据附け、衝立にてその間を仕切りて二人の患者を同時に治療し得る樣にしたるなり。　操作室は患者の待合室を兼ねしめたれど、隔壁を設けて、操作室ニ患者待合室ニを別個の室ニするも可なるべし。

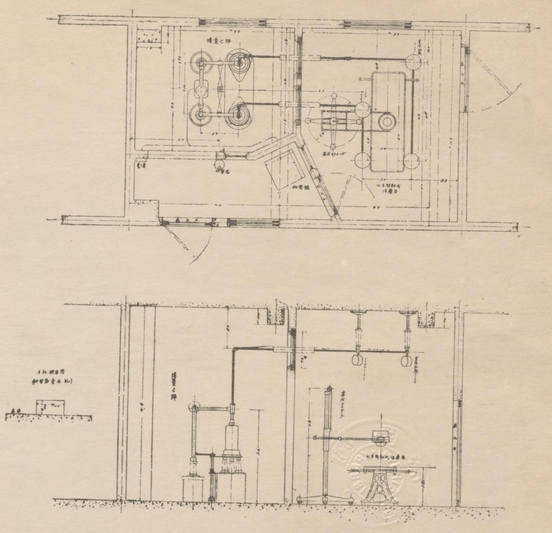
60
1331



9 博愛A號レントゲン裝置

平面圖及側面圖　縮尺 約 1/80

深部治療專用裝置ミして博愛A號レントゲン裝置を設備する場合、機械室操作室及び治療室の配置を示すものなり

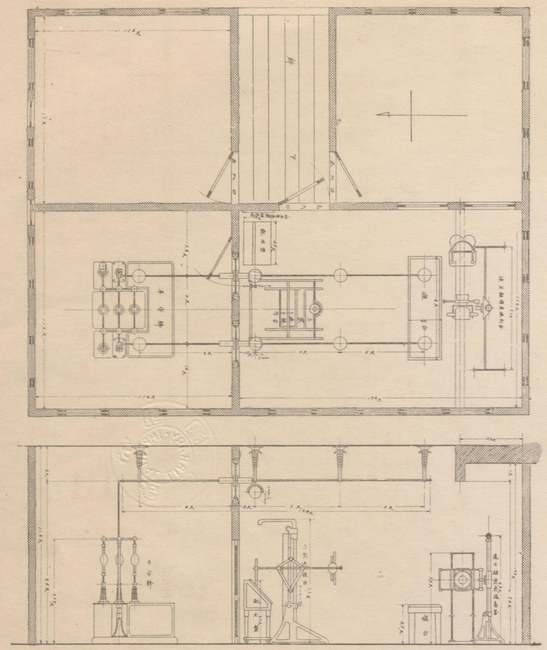


10 博愛C號レントゲン裝置

平面圖及側面圖　縮尺 約 1/80

深部治療專用ミして博愛C號を設備したり。機械室治療室及び操作室に分る。治療室には深部治療用高壓管球保持器及び水平移動式治療台を据附けたり。博愛C號レントゲン裝置は深部治療用のみならず診斷用ミしても用ひ得べきを以て第三圖、第四圖、第五圖の博愛B號レントゲン裝置の例にならひ診斷用の透視裝置、ブッキーテーブル、リーダー氏立位撮影固定器等をも備ふれば深部治療、透視、撮影を兼ね行ひ得べきも本例に於ては室の都合上之等を据附くる餘地無く深部治療專用ミしたり。

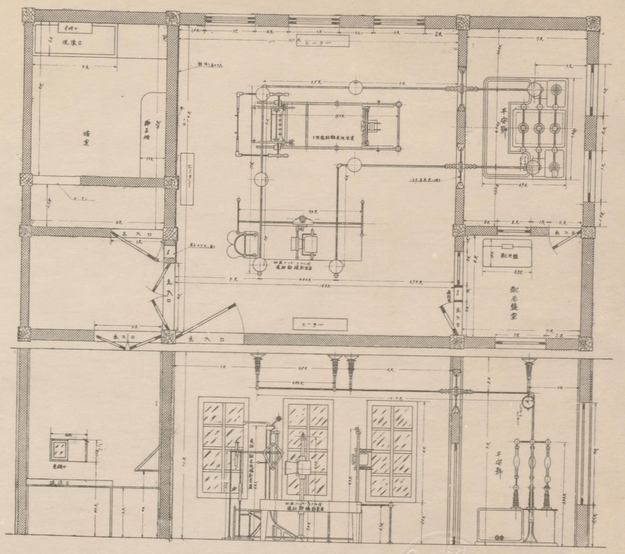
60
1331



11 平安號レントゲン裝置

平面圖及側面圖　縮尺約 1/80

三相交流を電源とする平安號レントゲン裝置は主として遠距離瞬間撮影に用ひらる。本例に於ては機械室は診斷室と隔てられ透視をも行ひ得る樣S號透視裝置を据附けたり。遠距離撮影裝置をも備へたれば三相交流レントゲン裝置本來の特長を發揮せしめ得べし。　遠距離撮影裝置の傍には臥位の撮影及び表在治療用として寢台を添へたり。

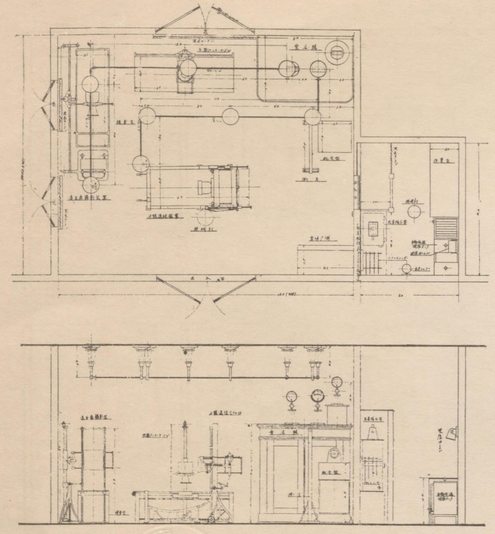


12 平安號レントゲン裝置

平面圖及側面圖　縮尺約 1/80

前例と同樣三相交流用レントゲン裝置平安號を据附けたる例にして機械室と操作室診斷室の三部に分ち更にレントゲン寫眞現像室を加へたり。　診斷室には高級遠距離透視撮影裝置及びブッキーテーブルを組合せたる遠距離撮影裝置を据附く。　寫眞現像室と診斷室との間の壁には鉛板を張りてレントゲン線の侵入を防ぎ又診斷室より現像室に入る通路は途中に遮光壁を設け扉を開放したる時にも白色光が直接に現像室内に入り來らざる樣意を用ひたり。

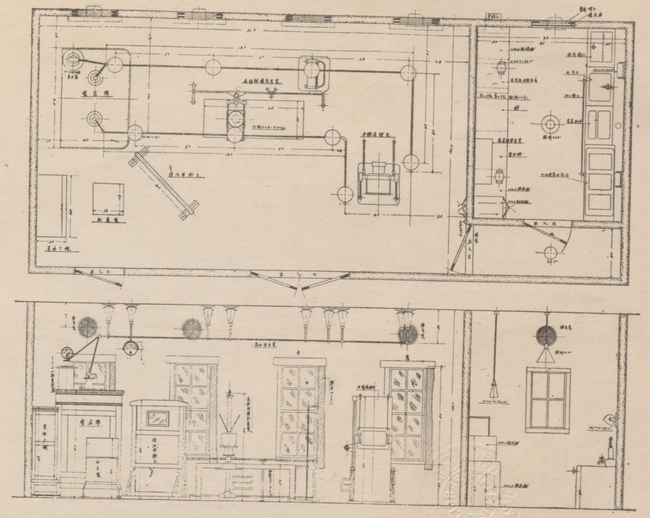
60
1331



13 愛宕號レントゲン發生裝置

平面圖及側面圖　縮尺約 1/80

平安號ニ同じく三相交流を電源ニする愛宕號レントゲン發生裝置を据附けたる例なり。保護箱を有する裝置なるが故に特に機械室を設くるを必要なく一室内に附屬品全部を收容せり。　A號透視裝置、遠距離撮影裝置、檢身台及びブッキーテーブルを備へ操作用配電盤の傍には防護用衝立を置く。　別に寫眞現像室を設けタンク現像或は皿現像のいづれをも選び得る設備をなしたり。現像室ニ診斷室ニの隔壁には第十二圖の例ニ同樣鉛板を張りレントゲン線の侵入を防ぎたり。

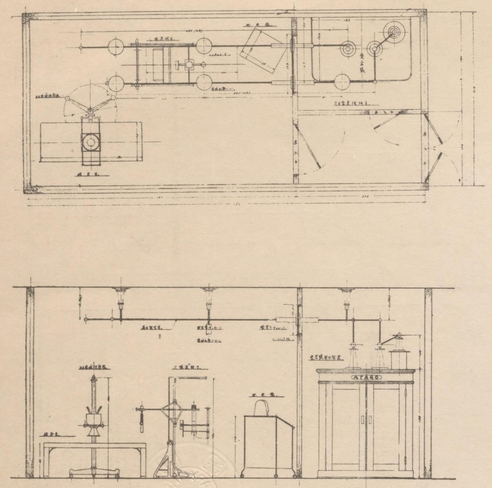


14 愛宕號レントゲン裝置

平面圖及側面圖　縮尺約 1/80

前例ニ同じく三相交流用レントゲン裝置愛宕號を据附けレントゲン寫眞現像室を加ふ。　B號透視裝置、ブッキーテーブル及び之ニ組合せたる遠距離撮影裝置を備へ操作配電盤の傍には防護用衝立を置く。　レントゲン寫眞現像室の出入口扉は複式ニなし又レントゲン室ニの隔壁にはフイルム受授箱を取附けたる事なニ注意すべし。タンク現像皿現像の何れをも行ひ得る廣き現像台を設けたり。　レントゲン室現像室の換氣を計るため排氣電氣扇を壁に取附けたり。

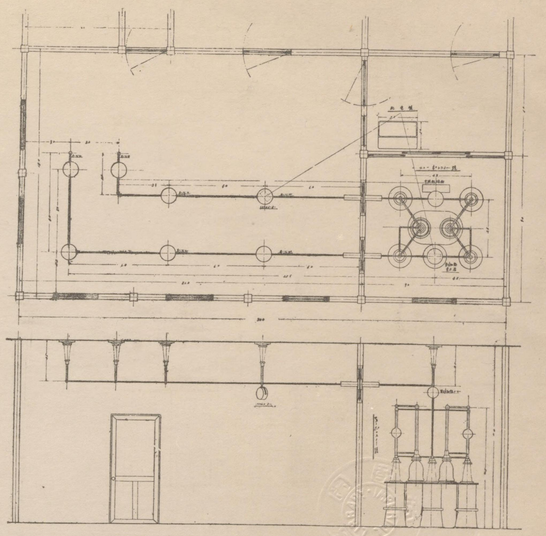
60
1331



15 愛宕號レントゲン裝置

平面圖及側面圖　縮尺約 1/80

第十三圖第十四圖と同じく三相交流用レントゲン裝置愛宕號を据附けたるものなれど前二例と異る點は特に機械室を設けたる事なり。　透視裝置としてはC號透視裝置を選び外にVA型管球保持器を備ふ。立位に於ける撮影はC號透視裝置の螢光板を寫眞取枠に置き換へて之を行ひ臥位の撮影及び表在治療にはVA型管球保持器と檢身台とを以て之を行ふことゝせり。　C號透視裝置は管球支持部を後方二米まで伸ばし得るを以て遠距離撮影を行ひ得べく、之に便する爲技術者は透視裝置背面に居る樣配電盤の位置を定めたり。

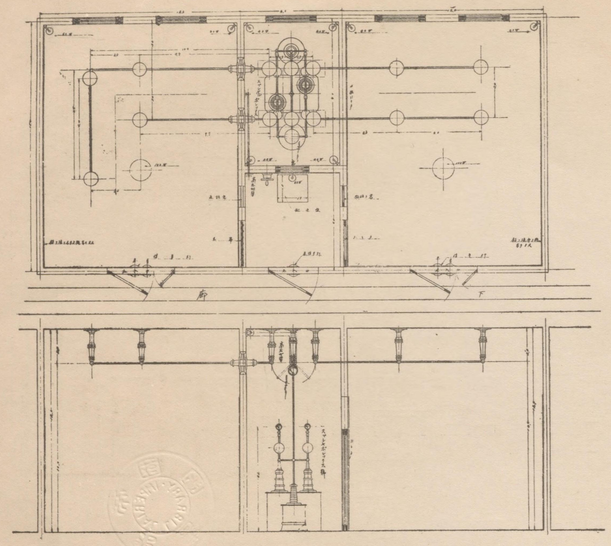


16 ボレスター號レントゲン裝置

平面圖及側面圖　縮尺約 1/80

四個の整流管を用ひ標準的なる回路を有する深部治療專用レントゲン裝置ボレスター號を据附けたる例なり。　機械室操作室及び治療室の三室に分たれたり。第六圖及び第七圖、第八圖、第九圖、第十圖等の深部治療專用レントゲン室据附圖をも御參照願ひ度し。

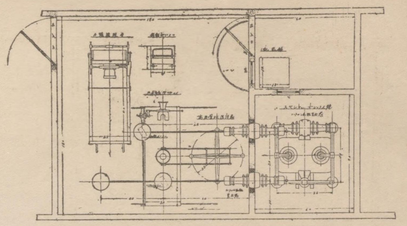
60
1331

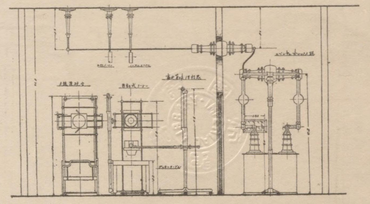


17 スペシアルポレックス號レントゲン裝置

平面圖及側面圖　縮尺 約 1/80

深部治療診斷兼用のスペシアルポレックス號を据附けたる例なり。此の例に於てはスペシアルポレックス號の保護箱を除きて中央の機械室に收容し操作室治療室診斷室を配置せり。　第三圖、第四圖、第五圖に於ける博愛B號レントゲン裝置据附圖をも御參照願ひ度し。



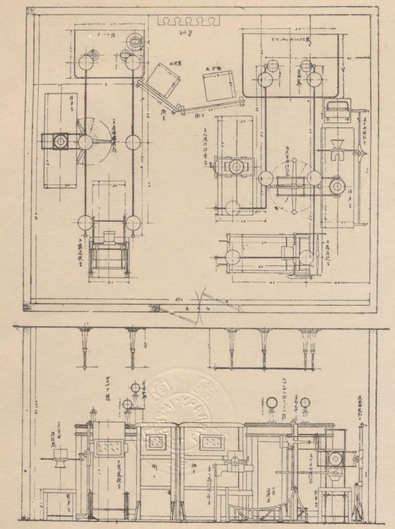


18 スペシアルポレックス號裝置

平面圖及側面圖　縮尺 約 1/80

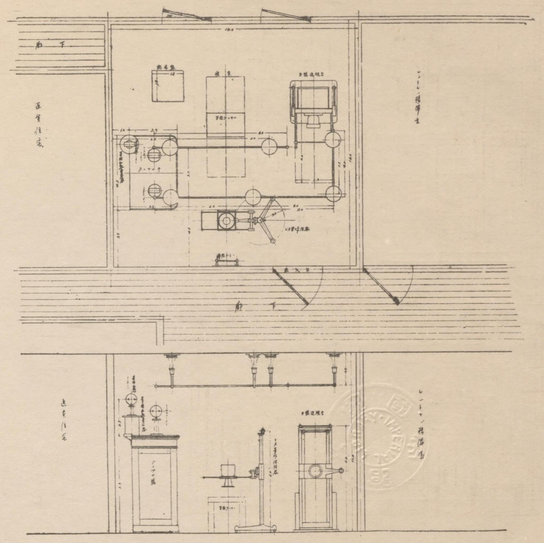
特別の設計になるスペシアルポレックス號の据附圖なり。本例に於ても機械室、操作室、診療室の三部に分ちスペシアルポレックス號の保護箱を除きて機械室に收めたるなり。機械室と診斷治療室との隔壁を貫通する高壓套管はその中に加熱變壓器を容れたり。　診療室には深部治療用高壓管球保持器、ブッキーテーブル、移動式リーダー氏立位撮影固定器、A號透視裝置を備へ、深部治療、立位及び臥居の撮影或は透視等各種レントゲン診療方法を遺憾なく遂行せしめ得る樣設備せり。

60
1331



19 スペシアルポレックス號及ダイアナ號レントゲン裝置 平面圖及側面圖 縮尺約 1/80

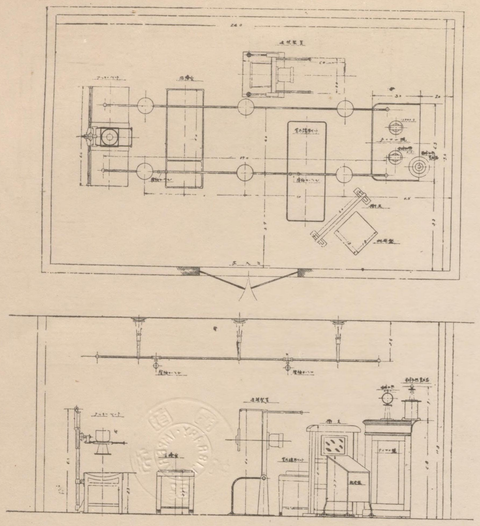
一つの室内に二台のレントゲン裝置ミ之に附屬する診療器具を收容したり。スペシアルポレックス號は深部治療、診斷兼用裝置なるが故に高壓管球保持器求心器付治療台の如き深部治療用具ミ遠距離撮影裝置、A號透視裝置の如き診斷用具ミを備へ、ダイアナ號にはB號透視裝置、VA型管球保持器 檢身台を附屬せしめ透視診斷及び表在治療を行ひ得べくしたり。 兩裝置の操作用配電盤の傍には防護衝立を置き操作者を保護す。



20 ダイアナ號レントゲン裝置 平面圖及側面圖 縮尺約 1/80

透視、撮影及び表在治療用ミして最も手頃且つ標準的なるダイアナ號レントゲン裝置の据附圖なり。 B號透視裝置、VA型管球保持器、壁懸式リーダー氏立位撮影固定器及ブッキブーレンヂを備へ、一通りの透視撮影の目的を遂行し得らゝ樣設備せり。

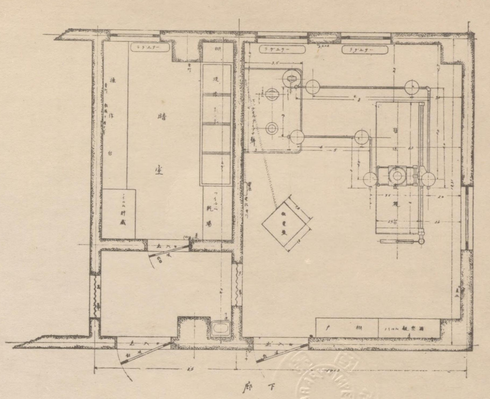
60
1331



21 ダイアナ號レントゲン裝置

平面圖及側面圖　縮尺約 1/80

前例に同じくダイアナ號レントゲン裝置を据附けたるものなり。前例と殆んど同樣なるもブッキーテーブルを備へ、防護用衝立を置きたる點等に少しく異りたる所あり。室の大きさに餘裕あり、前例よりも操作上に便利なるべし。
一般にレントゲン室は稍々廣過ぎる位にて丁度適當なるものにて餘り狹きは宜しからず。

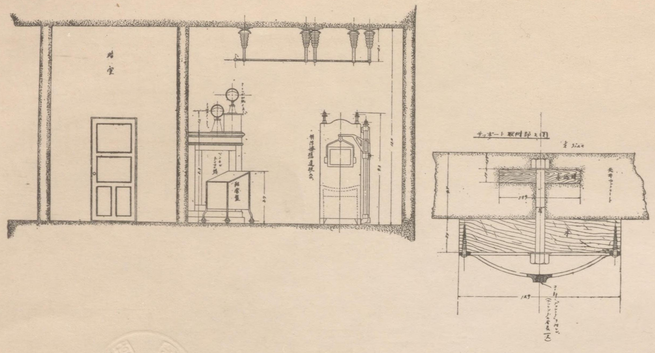


22 ベンチールダイアナ號レントゲン裝置

平面圖　縮尺約 1/80

本例はベンチールダイアナ號と特に設計せる保津號用立位透視台及び水平診療台とを組合せたるものにして稍々異例とすべきものなり。萬能操作台を組合せたる方が或は操作に便ならんか。　本例に於て注意すべきは寫眞現像室を相當廣く取りたる點なるべし。

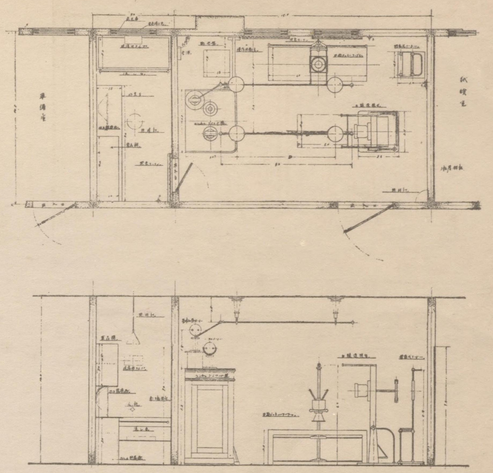
60
1331



23 ベンチールダイアナ號レントゲン装置

側面圖 縮尺約 1/80

前圖の側面圖なり。

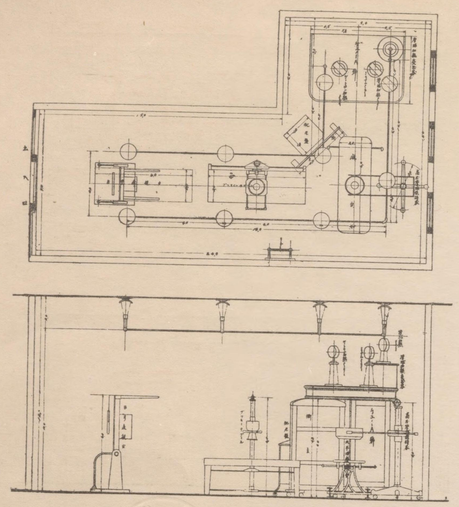


24 ベンチールダイアナ號レントゲン装置

平面圖及側面圖 縮尺約 1/80

ベンチールダイアナ號レントゲン裝置にブッキーテーブル、B號透視裝置、移動式リーダー氏立位撮影固定器、操作用防護衝立等を組合せ寫眞現像室を附屬せしめたる例なり。　第二十圖、第二十一圖、第二十二及二十三圖ミ比較對照して頂き度し。

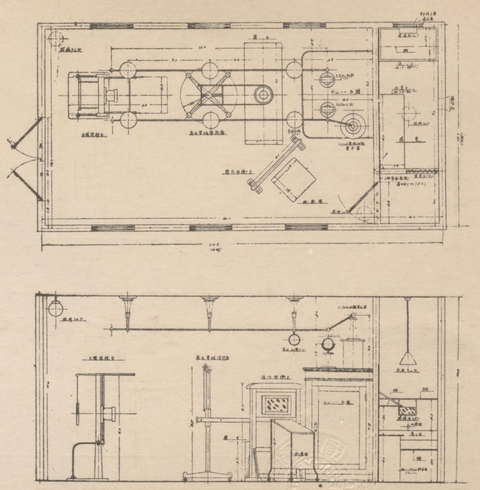
60
1331



25 ヂュノーA號レントゲン裝置

平面圖及側面圖　縮尺約 1/80

深部治療ミ診斷の兩用を兼ねしめたるものにて、深部治療用高壓管球保持器、水平移動式治療台の如き深部治療用附屬品之外にブッキーテーブル、B號透視裝置を備へて診斷の目的にも用ひんとするものなれどもヂュノーA號は寧ろ深部治療專用ミし診斷用には他の適當なる裝置を選ぶ方可なるべし。

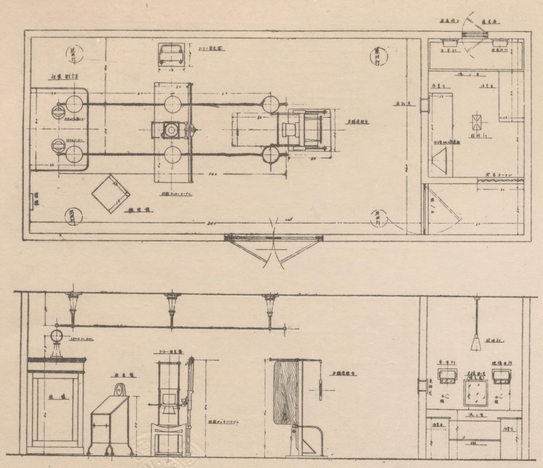


26 ヂュノーB號レントゲン裝置

平面圖及側面圖　縮尺約 1/80

前例ヂュノーA號に診斷の目的を兼ね行はしむるものより本例の如くヂュノーB號を深部治療診斷の兩用ミするが合理的なり。本例は深部治療用高壓管球保持器、B號透視裝置を備へたるのみなれどもブッキーテーブル、リーダー氏立位撮影固定器を加ふれば更に便利なるべし。　レントゲン寫眞現像用現像室を附したるものなれば寫眞撮影用附屬品を備ふべきは當然ならん。

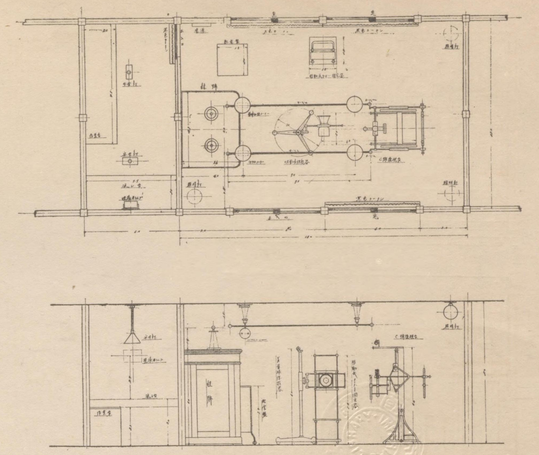
60
133



27 桂號レントゲン裝置

平面圖及側面圖　縮尺約 1/80

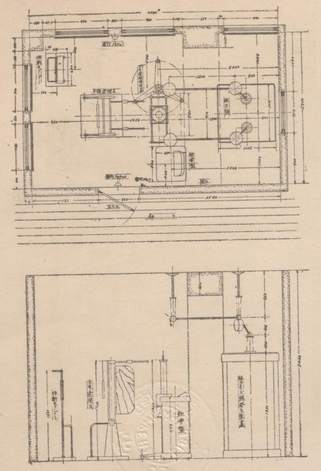
レントゲン寫眞撮影用の裝置ミして三相交流用の平安號及愛宕號を除いては最も優秀なる成績を以て知られたる桂號レントゲン裝置を据付けたる例なり。B號透視裝置、ブッキーテーブル、移動式リーダー氏立位撮影固定器を備へ、寫眞現像室の設備もあり。現像室ミ診斷室ミの間の壁には鉛板を張り透視裝置より洩れ來るレントゲン線を防禦するの注意も必要ならん。此の隔壁には通話窓の設けあり診斷室ミ現像室ミの通話に便じたり。



28 桂號レントゲン裝置

平面圖及側面圖　縮尺約 1/80

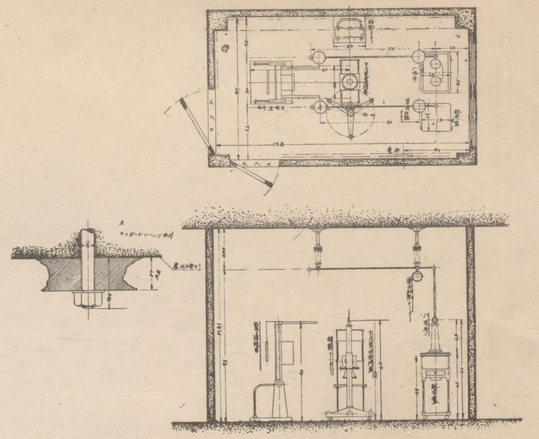
前例ミ同じく桂號レントゲン裝置据付の例なり。前例ミ異る所はブッキーテーブルを備へずVA型管球保持器のみミせる事、透視裝置がC號透視裝置なるこミ等二三に過ぎず。寫眞現像室はレントゲン裝置の背面にあり、前例に比較して或は此の位置の方が便利なる事もあるべし。



29 桂號レントゲン裝置

平面圖及側面圖　縮尺約 1/80

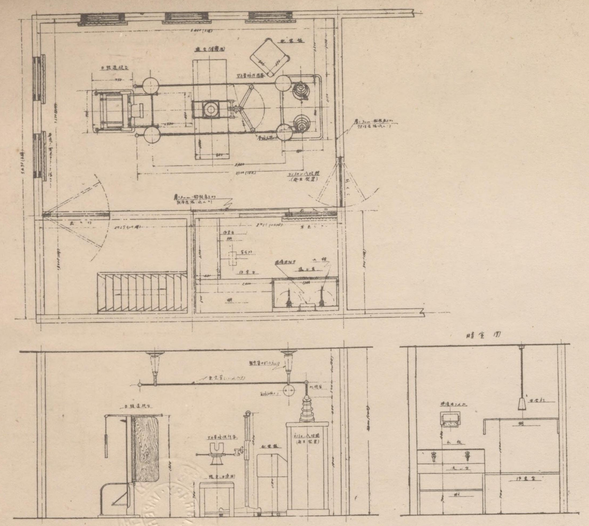
第二十七圖、第二十八圖に於ける桂號レントゲン裝置と殆んど同樣なる例なり配電盤及び裝置保護箱の形体は前二例とは異りたれど其他は殆んど同樣なり。



30 八坂號レントゲン裝置

平面圖及側面圖　縮尺約 1/80

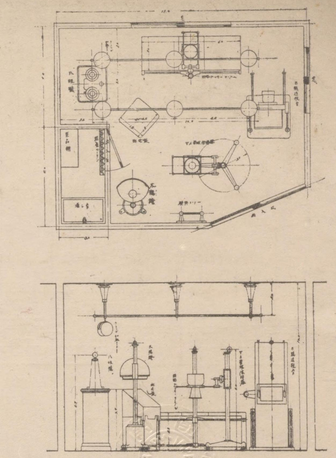
最も手頃なるレントゲン裝置として賞用さるる八坂號レントゲン裝置と標準的診斷用具たるB號透視裝置 VA型管球保持器及び移動式リーダー氏立位撮影固定器との組合せになるものなり。　診斷用レントゲン室として此の程度の設備は最小限度とも謂ふべきものにて之に第三十六圖の寫眞現像室を附加すれば恰好のレントゲン室なるべし。



31 特型八坂號レントゲン裝置

平面圖及側面圖　縮尺約 1/80

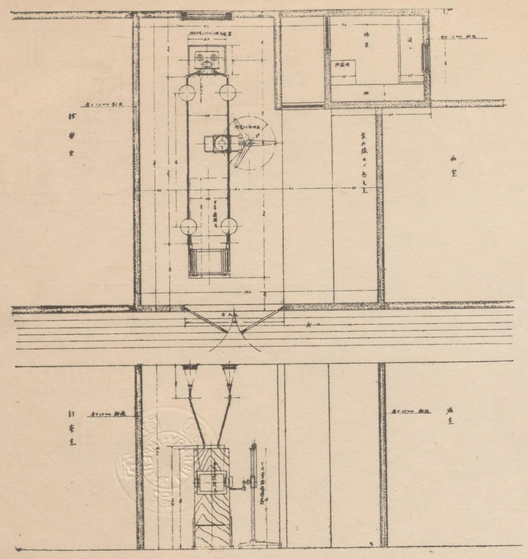
本例は八坂號レントゲン裝置に整流管を附し保護箱を加へたるものにして異例なれども便宜上此處に掲けたるものなり。　B號透視裝置、VA型管球保持器は標準附屬品として備へ、寫眞現像室をも設備せり。



32 八坂號レントゲン裝置

平面圖及側面圖　縮尺約 1/80

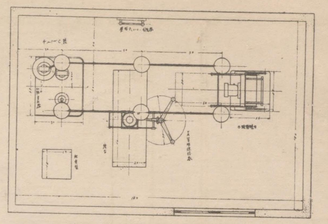
八坂號レントゲン裝置据附の他の一例として掲ぐる本例は第三十圖にブッキーテーブルを加へ、リーダー氏立位撮影固定器を壁懸式としたるものなれど太陽燈を置く餘地を空けたるため寫眞現像室は狹きに過ぎるものとなりし憾あり。室の都合上止むを得ざれども寫眞現像室としては第三十六圖程度の廣さは必要ならん。

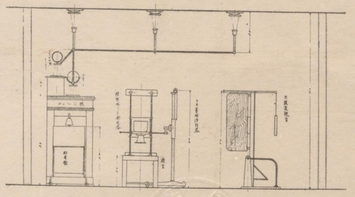


33 スタルク號レントゲン裝置

平面圖及側面圖　縮尺約 1/80

第三十圖に示せる八坂號レントゲン裝置据附の狀態をスタルク號と置き換へ寫眞現像室を加へたるものと見ることを得。リーダー氏立位撮影固定器も室内の何處かへ据へ付くべきものならん。

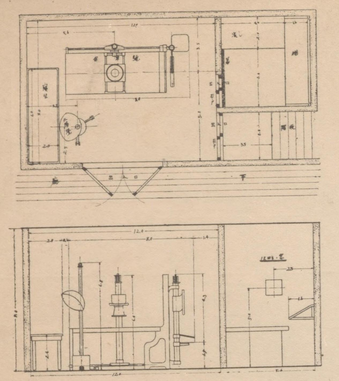




34 ヂュノーC號レントゲン裝置

平面圖及側面圖　縮尺約 1/80

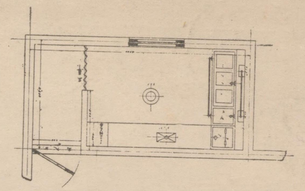
第三十一圖 特型八坂號レントゲン裝置据附圖と大体同樣なるヂュノーC號レントゲン裝置の据付圖なり。　壁懸式リーダー氏撮影固定器を壁面に取付けて立位に於ける撮影に便ぜる外はB號透視裝置、VA型管球保持器共第三十一圖と殆んど異りたる所なし。　第二十圖、第二十一圖のダイアナ號レントゲン裝置、第二十二圖、第二十七圖其他の各据附圖をも比較御參照願ひ度し。

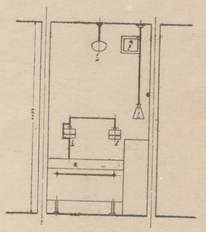


35 保津號レントゲン裝置

平面圖及側面圖　縮尺約 1/80

最小の占床面積にて足り且つ天井に高壓架空管を張り渡す必要なく實用的レントゲン裝置として知られたる保津號レントゲン裝置は圖に見る如き狹小なる室にも据附け得、猶ほ太陽燈をも併置し得る余慾あり。他の据付圖と比較御研究願へば如何に簡單に据附け得らるゝかは一目にて瞭らかなるべし。





36 簡易なるレントゲン寫眞現像室

平面圖及側面圖　縮尺約 1/80

レントゲン寫眞現像室として最も簡單なる例なり。皿現像用の流し、水洗用のタンク、現像用タンク及び定着用タンク、作業台、フィルム貯藏箱、藥品戸棚等を設備せり。　第十三圖に於ける現像室にはハンガー掛けを備へ、第十四圖に於けるものにありては診療室との隔壁にフヲルム受授箱を作り。第二十七圖の例に於ては通話窓を取付け、寫眞觀察裝置を置きたり。　現像室内にラヂエーターを取付けて冬期の保溫を計り（第二十二圖）或は現像室内の濕氣多き空氣を排出するための換氣窓に排氣電氣扇を取付くる（第十四圖）等の設備もあれば更に完全なる寫眞現像室となるべし。

レントゲン室据附圖集
定價 金貳圓五拾錢

昭和九年十二月二十日印刷
昭和十年一月二十日發行
不許複製
京都市中京區西ノ京桑原町
株式會社島津製作所工場
編輯兼發行人 河本義夫

京都市中京區丸太町通小川西入
印刷人 阿部幸一

京都市中京區丸太町通小川西入
印刷所 株式會社 石田大成社印刷所
電話上四一〇五・四一〇六番

60-1331
1200501272799
60
31
S